

だい かい にほんご

かいさい

第14回 日本語スピーチコンテスト開催!!

2025年12月6日に「第14回立教大学留学生による日本語スピーチコンテスト～東京セントポールライオンズクラブ杯」が開催され、初級・中級・上級18人の出場者がスピーチを行いました。発表者はみなさんとても素敵なスピーチをしていました。



じゅしょうしゃ
受賞者の
スピーチ動画はこちら



<https://s.rikkyo.ac.jp/contest14>

とうきょう 東京セントポールライオンズクラブ賞

このような日本語スピーチコンテストに出場するのは初めてで、大変緊張していましたが、学生アドバイザーや実行委員の方々のご協力のおかげで、無事に発表を終えることができました。発表中は審査員の先生方が温かい眼差しを向けてくださいり、会場全体もとても和やかな雰囲気で、発表しやすかったことを覚えています。異国の地で、外国語でコンテストに挑戦することは決して簡単なことではなく、大きな勇気が必要です。私自身も出場を決めるまでに何度も迷いましたが、実際に挑戦してみると、思っていたほど怖いものではありませんでした。この経験は確かに自分を成長させてくれたと感じています。みなさんもぜひ、一歩踏み出してみてください!

チャン・スジさん（コミュニティ福祉学部）



スジさん、最優秀賞受賞本当におめでとうございます。スジさんの直向きな努力と、本心から紡がれる素直な言葉が観客に届いたのだと思います。アドバイザーとしても嬉しく思います。また、あの場にいた、外国语で大勢の前でスピーチをするという難題に挑戦しようと一歩踏み出したスピーカーのみなさん全員に、心からの敬意を表します。私自身もとてもいい経験になりました。

アドバイザー 館野南帆さん（現代心理学部）



多くの方々のご尽力により、今年も日本語スピーチコンテストを開催できましたことに感謝いたします。留学生のみなさまが、日本での生活や言語学習、人生の選択に悩みながらも、前向きに逞しく一步ずつ進もうとする姿や、その思いを日本語で懸命に伝えようとする姿に強く心を打たれました。本当に全てが素晴らしいスピーチだったと思います。また、留学生とアドバイザーなど、普段は接点の少ない人々の間に新たな繋がりが形成されていくのも本コンテストの魅力だと感じました。今後もこの機会がより多くの感動と繋がりと共に継承されることを願っております。

実行委員長 S.H さん（異文化コミュニケーション学部）



全学共通科目 言語自由科目 (J8科目) の紹介

正規学部留学生は2年次以降、全学共通科目 言語自由科目を履修することができます。

一部の言語自由科目はグローバル教養副専攻の Discipline Course の「留学生向けキャリアと日本語」

のための科目としても指定されています。グローバル教養副専攻の詳細はウェブサイトをご覧ください。

J8科目には、アカデミック日本語のスキルを高めるための論文読解や論文作成のクラスの

ほかに、日本での就職活動を考えている学生のためのクラスや、日本の文化、社会に

ついて学ぶクラスもあります。池袋キャンパスと新座キャンパスの両方で開講されている

クラスもありますので、ぜひシラバスを確認してみてください。

J8レベルの特別外国人学生と正規大学院生もこれらの科目を J8科目として履修することができます。

今回は「ビジネスメールと文書」と「キャリアの日本語B」を履修している先輩が

クラスの紹介をします！



大学シラバス

グローバル

教養副専攻

ビジネスメールと文書（池袋・新座）

みなさん、こんにちは！将来日本で就職したいと思っている方に、「ビジネスメールと文書」の授業をおすすめします。この授業では、仕事でよく使うメールや、議事録、稟議書などのビジネスの文書の書き方を分かりやすく学ぶことができます。先生の説明もやさしく、授業で少しずつ練習していくので、ビジネス日本語が初めてでも安心して受けられます。みなさんもぜひ挑戦してみてください！



チョウ・エンニンさん（法学部）

キャリアの日本語B（池袋・新座）

「キャリアの日本語B」では、就職活動に必要な適性検査、特に SPIについて学ぶことができます。適性検査はほとんどの日本企業が採用していますが、外国人には難易度が高いです。この授業では実際に SPI 問題を解きながら、普段触れることが少ない独特的な日本語表現や論理的思考について理解を深めることができます。



チャン・スジさん（コミュニティ福祉学部）

留学生へのメッセージ

みなさん、立教大学での生活はどうですか？

私も日本で日本語を勉強しました。時間はかかりましたが、今まで最高の時間の使い方だったと思います。英語だけでも日本での生活を楽しむことはできますが、日本語を通して日本を見ることができれば、もっと豊かな経験ができます。一見簡単に見えることでも、日本語がわかると、社会や文化の深い意味が見えてくるようになります。

大切なのは、生きた日本語として学ぶことです。実際の会話や生活で使われる日本語を身につけてください。私も何年も前に立教大学で日本語を学ぶことができ、本当に恵まれていたと思います。日本語を本気で学びたいなら、CJLE は最高の環境です。

みなさんの挑戦を応援しています！



経営学部 デイヴィス・スコット先生



立教大学 日本語教育センター

<池袋キャンパス>マキムホール 1階国際センター内

<新座キャンパス>7号館 2階国際センター内

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

TEL : 03-3985-4202 FAX : 03-3985-2826 e-mail : nihongo@rikkyo.ac.jp

<https://cjle.rikkyo.ac.jp/>

